

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅱ					単位	1				
履修	選択	関連資格	保育士			ナンバリング	WE21625J				
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP5-1 DP5-2						
担当教員	金谷 めぐみ、吉富 淳子										
授業概要	保育士として求められる音楽の基礎技能について教授する。ピアノの演奏技術を高め、弾き歌いや伴奏法について教授する。学生のピアノの演奏技能の程度によって、グループ別、個別に授業を行う。										
学生が達成すべき行動目標	1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことができる。 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイエル 80-100 番程度)。 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身に附けている。 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。										
達成度評価											
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考			
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100				
知識・理解 (DP1-1)											
知識・理解 (DP1-2)											
知識・理解 (DP1-3)											
知識・理解 (DP1-4)											
思考・判断 (DP2-1)											
思考・判断 (DP2-2)											
関心・意欲 (DP3-1)											
関心・意欲 (DP3-2)											
態度(DP4-1)											
態度(DP4-2)											
態度 (DP4-3)											
技能・表現 (DP5-1)	20					10	30				
技能・表現 (DP5-2)	60					10	70				
技能・表現 (DP5-3)											
具体的な達成の目安											
理想的レベル			標準的なレベル								
1. バイエル 100 番以上を演奏できるピアノ演奏技能を身につけている。 2. 子どもの歌の弾き歌いの際、曲に合った表現で演奏できる。 3. 弹き歌いの際、周りの状況や子どもに配慮した演奏ができる。			1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことができる。 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイエル 80 番程度)。 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	声楽の基礎①:合唱 器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
2	声楽の基礎②:合唱 器楽演奏技術②:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
3	声楽の基礎③:合唱 器楽演奏技術③:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
4	声楽の基礎④:合唱 器楽演奏技術④:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
5	声楽の基礎⑤:合唱 器楽演奏技術⑤:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
6	声楽の基礎⑥:合唱 器楽演奏技術⑥:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
7	声楽の基礎⑦:合唱 器楽演奏技術⑦:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
8	声楽の基礎⑧:合唱 器楽演奏技術⑧:ピアノ演奏の基礎 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
9	器楽演奏技術⑨:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
10	器楽演奏技術⑩:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
11	器楽演奏技術⑪:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
12	器楽演奏技術⑫:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
13	器楽演奏技術⑬:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法 (金谷・吉富)	実技指導	ピアノ練習	60
14	まとめ:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い	実技指導	ピアノ練習	60
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育の表現技術1で学んだ音楽の基礎知識および演奏技術を復習して確実に理解しておきましょう。保育の表現技術1で弾けるようになった曲を、練習しておきましょう。			
テキスト	『バイエルピアノ教則本』全音楽譜出版社 『コールユーブンゲン』音楽之友社 『新・幼児の音楽教育』朝日出版社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「バイエルの謎」安田 寛 著 音楽之友社 「ブルクミュラー25の不思議」飯田 有抄・前島美保 著 音楽之友社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にも、できるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(ピアノ曲、弾き歌いによる実技試験)、その他(より高いレベルに到達するために意欲的に取り組んだかどうか)により評価します。 詳細は授業で説明します。			

